



にじのはし幼稚園 園だより



令和6年3月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

にじっこガーデンの沈丁花が膨らみ、いい香りがしています。登園時に気付いた子どもが、そっと顔を近付けて匂いを嗅ぎます。子どもの「いい匂い」の言葉に誘われ、後ろから見守っていた保護者も、同じように顔を近付け「本当ね、いい匂い」と体験を共有し、共感し合っています。親子の絆を感じる登園の一場面です。見ているこちらにも温かい気持ちになります。

“花”で思い出すフレーズがあります。「100の花の名前を知るよりも、1つの花を見て美しいと感じる子どもであってほしい」というような内容です。幼児教育で大事にしていることが、この短いフレーズに凝縮されています。保護者の皆様にも感じていただければ幸いです。

2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ヘックマンは「質の高い幼児教育が人生を大きく変える」「5歳までのしつけや環境が人生を決める」と、幼児教育の重要性を語っています。就学前教育（幼児教育）で重要なのは、IQのような認知能力（計算や読み書きのような知的能力）を高めることではなく、非認知能力（忍耐強さ、自分を信じる力、衝動をコントロールする力、感情を抑制する力、人の気持ちに共感する力、良心など）を高めることである。いずれ学校でやる勉強を先取りするよりも、幼いころから非認知能力を鍛えておくことが、社会に出て成功する、と研究によって明らかにし、IQが示すようなテストを解く能力は、人生の諸問題を解決する能力と同じではない、としています。

本園は、今年度も主体的な遊びを通して、子どもたちに資質・能力を豊かに育ててきました。今年度最後の園だよりで、子育て真っ最中の保護者の皆様にエールを込めて書かせていただきます。子育てには「肯定的に」「寄り添い」「楽しむ」姿勢が大事です。応援しています。

○たくさんの会話と愛情が心の栄養です。～自己肯定感につながります～

子どもは親の言葉に励まされ、自分は認められ、愛されていると感じ、健全に自我が形成されていきます。子どもが夢中になってしていることに、成果ではなく、過程や意欲を受け止めていきましょう。温かい保護者に育てられた子どもは、他者を温かく肯定的に受け入れ、相手のいいところを認め、仲よく過ごすことの心地よさを学びます。

○自分で物事を決めることができるように任せましょう。～自発性が高まります～

心配のしすぎや過干渉は、子どもの自発性を低くします。子どもが自分で意思決定をして行動し、失敗してもその中から、自分で気付いたり、考えたりするなど、学びにつながることを理解して、保護者の指示を減らし、子どもを信じて任せ、見守りましょう。

幼稚園経営計画 3 幼稚園経営の方針からの抜粋

<子どもの自己肯定感を育む保護者>

- ① 子どもの思いや成長に気付き、子育てに喜びを感じる保護者
- ② 生涯発達の鍵となるアタッチメントを築き、安心・安全の基地となって子どもを支える保護者

